

1. 学校教育目標

# 「自立」「協働」「貢献」

たくましく・優しく・賢く 主体的に生きる朝日中生

## 自立 自ら学び、考え、判断し、行動する

- 目標の設定
  - ・「将来こんな自分でありたい」という目標設定
  - ・目標を実現するための「中学卒業時に目指す姿」の具体化
- 自己理解の推進
  - ・自分の「課題」と「強み」の理解
  - ・「強み」を生かした挑戦する機会の創出
- 主体性の涵養
  - ・果たすべき役割の自己決定
  - ・行動化する際の支援と次につながる振り返り

## 協働 協力して課題解決に取り組む

- 自他を尊重する意識の醸成
  - ・自分の「強み」を生かして得られる自己肯定感
  - ・自分と違う考えや思いを受け入れようとする姿勢
- 思いを伝えあうコミュニケーション力の育成
  - ・自分が伝えたい「思い」が相手に伝わる「伝え方」
  - ・相手の気持ちや意図を「察する力」
- 人をつなぐ調整力の獲得
  - ・目指す目標(ゴール)の共有
  - ・対話を通してよりよい目標へのプロセスを見出そうとする態度

## 貢献 社会の一員としての役割を果たす

- 地域課題を解決しようとする意識の醸成
  - ・地域との関りで深める効力感
  - ・よりよい状況を目指そうとする向上心
- 「自分ごと」としてとらえる姿勢の強化
  - ・自分にできることを考えようとする積極性
  - ・「誰一人取り残さない」決意
- 課題解決に向けた実行力の伸長
  - ・課題解決(ゴール)に向けたプロセスの設定と実行
  - ・課題解決が自身の「成長につながっている」と感じる達成感

**自立**

自ら学び、考え、判断し、行動する

**協働**

自他を尊重し、協力して取り組む

**貢献**

社会の一員としての役割を果たす

目標設定  
自己理解  
主体性

自他の尊重  
コミュニケーション力  
調整力

地域課題解決意識  
「自分ごと」  
実行力

自己有用感・自己肯定感

「地域」「保護者」「学校」が一体となって子どもを育てる  
「朝日中全職員で」一人ひとりの成長支援

⇒ 朝日地域の教育力  
⇒ 学校教育の充実

## 2. 目標とする学校の姿

生徒にとって 学ぶ喜びと心かよう感動いっぱいの朝日中  
保護者にとって 安心して任せられる、子どもと共に成長する朝日中  
地域にとって なくてはならない「おらほの学校」朝日中  
職員にとって 支え合い、高め合い、働きがいのある朝日中

## 3. 学校教育目標実現に向けた具体的取り組み

**「自立」** … 自ら学び、考え、判断し、行動する

- ①「授業・家庭学習の充実により希望の進路を実現する」という方針の下、基礎・基本の定着、個に応じた指導により確かな学力の向上を目指す。
- ②「教科の特性に触れる面白さ」、「わかる・できる・伸びる喜び」、「学び合いの楽しさ」を実感できる授業改善を推進する。
- ③「特別の教科 道徳」を中核に、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を推進する。
- ④ ねらいを明確にした取り組みの推進と「当事者意識」の醸成を意識した話し合い活動などの充実による主体性の涵養を図る。
- ⑤自己理解を深め、自分の課題改善や、強みを生かした挑戦を支援する。
- ⑥校外でも通用する力（社会の行動様式：挨拶・身だしなみ・言葉遣い・時間厳守等）を培うため、各学年に応じた学校内外の活動を通じて指導を重ねる。
- ⑦体育や部活動等、体育的行事で、個に応じた健康・体力の向上や挑戦心・克己心を培う。

## 「協働」 … 自他を尊重し、協力して取り組む

- ①自他の生命・存在をかけがえのないものと認め、自他を尊重する心を育てる。
- ②仲間とともに向上しようとする集団の育成に努めるとともに、個々の生徒が所属感と自己有用感が得られる受容的集団づくり、支持的風土づくりに努める。
- ③朝日中の伝統、誇り、朝日中らしさを大切にしながら、「関わり合い」を重視した教育課程を編成する。
- ④他者の話を聞く構えづくりと自分の考えを自分の言葉で発表する場を設定し、表現力の向上を目指す。
- ⑤ねらいを明確にした「ともに考え、議論し、よりよいものをつくる」協働体験や、人の役に立つ体験活動場面を多く設ける。
- ⑥「一生懸命さ」が大切にされる学年集団の中での連帯感の醸成を図り、集団での磨き合いを通し、個々の能力伸長に努める。
- ⑦生徒会・学級活動の向上発展を目指して自発的・自治的な活動や「生徒同士の働きかけ」を支援するとともに、自己責任・主体性・公共の精神を培う。

## 「貢献」 … 社会の一員としての役割を果たす

- ①地域や社会教育との連携を密にし、地域行事等への参加を勧め、郷土を愛する心とともに他者と協働しようとする姿勢や「自分らしい生き方」を迫及する意欲を育む。
- ②地域とのかかわりの大切さと、中学生として「地域貢献」の在り方を意識する機会を設定する。
- ③地域への貢献を通し、持続可能な社会づくりに貢献しようとする意識を醸成する。
- ④地域関係団体が主催する、生徒が地域で活躍できる場面への参加を促す。
- ⑤授業や係・当番活動、奉仕・ボランティア活動等、教育活動全般における適時評価の実施により、思いやりの心を行動に表し、誰一人取り残さない、という意識の醸成に努める。
- ⑥他者のために自分にできることを考え、実行する経験を通して、自分自身が成長していることに気付かせる。

### 4. 学校経営の重点

#### (1)「地域」「保護者」「学校」が一体となって子供を育てる

- ①朝日地域学校運営協議会を核とした「地域とともにある学校」づくりを推進し、地元愛、地域貢献意識を育む。
- ②保護者間の連携強化のため、PTA活動や研修の充実を図る。
- ③あさひ小との連携を密にし、9年間を見通した教育活動を推進する。
- ④「中学卒業時に目指す姿」の実現、「中学卒業時に身に着けたい力」の獲得を目指し、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を互いに認識し、効果的に実行できるような連携を推進する。
- ⑤必要に応じて関係機関と連携し、生活安全・交通安全・不審者対応・雪害対策・鳥獣被害対策等を充実させ、災害予防に万全を期す。

#### (2)「朝日中全職員で」一人ひとりの成長支援

- ①各生徒の自立を目指す姿の実現に資する活動を支えるために生徒理解に努め、諸課題に対し組

織的な対応を行う。

- ②支援を必要とする生徒について、本人、保護者のニーズをふまえ、社会的自立のために適切な支援ができるよう、関係機関等と連携を図る。
- ③生徒の自己有用感、自己肯定感を醸成することにより、何事にも主体的に取り組む姿が見られるよう、教育相談やアンケート等で把握した情報をふまえ、生徒の気持ちに寄り添った丁寧な指導を行うとともに、生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を意識した指導の充実を図る。
- ④生徒が安心して生活できるよう、互いを尊重し合う集団の形成を目指し、いじめ・不登校予防、心の健康づくりに取り組むとともに、不安を抱えた生徒の早期発見と不安の解消に努める。

## 5. 令和6年度の重点

自尊感情（自己有用感・自己肯定感・自信や誇り）を高める働きかけ

- 個々が活躍する役割の設定
- 生徒のよいところを意識化させる声かけ
- 違いを認める雰囲気と物事を「自分ごと」としてとらえる姿勢の醸成
- 失敗を次につなげる支援

### (1)信頼関係の構築

- ①生徒の信頼 … 授業、学年経営等による絆づくり・居場所づくり  
・生活、学習規律の向上 … 親身な関わり
- ②保護者の信頼 … 生徒の姿で信頼を得る
- ③地域の信頼 … 学校運営協議会による発信 学校行事等への参加の勧奨

※朝日中教職員として

- ・教科指導等の研鑽に励み、元気澆刺と勤務することができる経営を推進する。
- ・公務員としてのサービスの厳正と交通事故、交通違反等、事故の絶無を徹底する。
- ・組織マネジメントと教職員の自己マネジメントによる「働き方改革」を推進する。

### (2)たくましさの醸成

多様な考え方や価値観に触れる取り組みの推進 … 朝日地域の内外の教育資源の活用

### (3)地域の教育力を生かした取り組みの推進

- ①学校運営協議会を核とした「地域とともにある学校づくり」の推進
- ②あさひ小との連携による小中一貫の視点からの教育活動の充実  
⇒「ふるさと 朝日」への愛着と貢献しようという意識の醸成